

# 三春の滝桜

2012年4月15日  
リーダー:饗庭 和重



## 心の桜 饗庭 和重

遠いところまで出かけたにもかかわらず、桜がついに見られなかったこと、自然相手の計画の難しさを痛感しました。



▲カエルも開花を待っているようです。

また、資料館等独断で決めてしまい、申し訳なく思いましたが、ゆうゆうは山登りだけでなく、知識の集積にも勤める会だと思いました。行った先の山に限らず、文化伝統やいわれ等を知ることが大切だと思いました。

いつもながら館山さんをはじめ、ゆうゆうの皆さんの心遣いで楽しい山行ができることに感謝しています。



▲滝桜付近のお土産屋さんにて買い物をするメンバー



▲滝桜の開花はまだでした。

## 4月バスハイキング「三春の滝桜」に参加して 戸邊茂雄

4月15日(日)、「三春の滝桜」を見に福島県田村郡三春町へ行きました。事前にネットで調べると開花は18日頃とのことで花はまだ蕾です。それを承知で行きました。朝5時45分に千間台で8人、6時に春日部で14人の合計22人が28人乗りのバスに乗り込んで出発しました。車は東北自動車道を直走り、郡山JCTから磐越自動車道へ、郡山東で降りて三春町へと向かいました。そして9時30分に到着です。現地には事前に手配していたボランティアのガイドさんが待ち受けていて案内してくれました。開花前なので観光客は少なく、駐車場にはマイカーしか止まらずに我々以外には団体客は見当たりませんでした。「三春の滝桜」は推定樹齢が1000年以上、高さ13.5m、根回り11.3mのベニシダレザクラで、薄紅色の小さな花を無数に咲かせ、その様が流れ落ちる滝のように見えることから「滝桜」と呼ばれている天然記念物に指定されている名木です。しかし、今日の桜は蕾桜です。一通り見学して、ガイドさんの案内に従って、次に歴史民俗資料館と郷土人形館へ向かいました。歴史民俗資料館の隣には自由民権記念館もあり河野広中の銅像と自由民権運動の記念碑も建ってありました。資料館の中には、鎧、乗り物籠、職人の使った道具、農機具、養蚕具等々様々な物が展示されていて戦国時代から江戸時代に三春を治めた大名・田村家と秋田家の様子や農家・商家などの当時の様子をうかがい知ることができました。人形館には江戸期の三春人形をはじめ東北地方の人形、伝統こけしなどが展示してありました。三つの館を見学してバスまで戻る途中、町の中を歩いていたら子供たちとすれ違いましたが、驚いたことに皆「こんにちは」と挨拶するのです。観光地ということでしょうか、とても良い気分でした。この後、ガイドさんを滝桜の場所まで送り返してから「田園生活館」に行きました。ここではお昼とお風呂を予定しておりましたが、山に登ったわけでもなく汗をかいていないのでお風呂は止めて、ビールを飲ん

で三春名物の手延べそうめんを食べました。そして時間があるので男性陣は、屋外の芝生にシートを敷いて宴会を始めました。アルコール度数25度の鹿児島焼酎と30度の沖縄の泡盛を飲みました。アルコールが少し回ってきて三春町を後にしましたが、桜が拝めなかったでなんとなく物足りなさを感じていると皆同じ思いで、桜は宇都宮が丁度満開だったので急ぎ宇都宮で途中下車して花見をすることと相成りました。高校時代まで宇都宮に住んでいたという藤井さんの案内で17時30分、日本酒を片手に「八幡山公園」へ行きました。桜は満開で大勢の花見客で賑わっておりました。花見をしたので帰りは少し遅くなりました。千間台に戻って千間台組8人でいつもの店でビール、ギョーザ、ラーメンで反省会を行って家に帰宅したのが11時丁度でした。リーダーの饗庭さんはじめ皆様今回も楽しいハイキングありがとうございました。



▲ 田園生活館にて



▲ 宇都宮 八幡山公園にて



▲ 夜桜も楽しみました。

2012年6月山行案内 **鍋割山 1332m**(群馬県勢多郡富士見村)

リーダー：伊藤 松雄

**日時**：6月17日(日) 千間台6時00分出発、春日部6時15分出発

**コース**：荒山高原登山口→50分→荒山高原→50分→鍋割山(昼食)  
→45分→荒山高原→荒山高原登山口

**山行者**：バスは28人乗りを予約。エントリー者は27人です。

**入浴**：入浴セット持参

**集会**：車中で2012年下期のエントリーを確認します。



※6月の集会は中止となりました。2012年下期のエントリーに変更のある方は小倉までご連絡ください。